

一橋大学経済研究所共同利用・共同研究拠点事業プロジェクト研究集会
「高頻度データを用いた資産市場のマイクロ構造とボラティリティの計量分析」

主催：一橋大学経済研究所平成 24 年度共同利用・共同研究拠点事業プロジェクト研究
「高頻度データを用いた資産市場のマイクロ構造とボラティリティの計量分析」

共催：一橋大学研究プロジェクト「大規模・高頻度データを用いた金融危機・震災・グ
ローバル化の経済分析」、一橋大学グローバル COE プログラム「社会科学の高度統計・
実証分析拠点構築」

会場：一橋大学国立キャンパス・マーキュリータワー 7 階会議室

幹事：大屋幸輔（大阪大学）・渡部敏明（一橋大学）

報告時間：報告 25 分、質疑応答 10 分

2013年2月5日

9:30-9:35 開会の挨拶

大屋幸輔（大阪大学）

Option-Implied Volatility and Risk Aversion

座長：大屋幸輔（大阪大学）

9:35-10:10 生方雅人（釧路公立大学）“The Role of Implied Volatility and Jump Risk
Component in Forecasting Realized Volatility”

10:10-10:45 Nattapol TAKKABUTR（大阪大学）“Option-Implied Risk Aversion Anomalies:
Evidence from Japanese Market”

10:45-10:55 休憩

資産価格の計量分析

座長：石田功（大阪大学）

10:55-11:30 大屋幸輔（大阪大学）「株価収益率の時間変更過程のモーメント推定につい
て」（共著者：Nattapol TAKKABUTR（大阪大学））

11:30-12:05 佐藤綾野（高崎経済大学）「中国人民元レートのインプリシットバンド」（共
著者：宮田庸一（高崎経済大学）・鈴木久美（山形県立米沢女子短期大学））

12:05-13:25 昼食

Realized GARCH and Stochastic Volatility Models

座長：渡部敏明（一橋大学）

13:25-14:00 大森裕浩（東京大学）“Realized Stochastic Volatility Models”

14:00-14:35 石原庸博（一橋大学）“Multivariate Realized Stochastic Volatility Model with Leverage”（共著者：大森裕浩（東京大学））

14:35-15:10 竹内明香（上智大学）“An Empirical Analysis of the Nikkei 225 Put Options Using Realized GARCH Models”

15:10-15:20 休憩

GARCH Models

座長：佐藤綾野（高崎経済大学）

15:20-15:55 中谷朋昭（北海道大学）「多変量 GARCH モデルを推定するための R 用パッケージ ccgarch2」

15:55-16:30 石田功（大阪大学）“Revisiting the Functional Form Specification of the Volatility Shock Term in GARCH-type Models”

16:30-16:40 休憩

Realized Volatility

座長：大森裕浩（東京大学）

16:40-17:15 永田修一（関西学院大学）「日内収益率の絶対値によるボラティリティ予測-VaRと期待ショートフォールによる評価」

17:15-17:50 長倉大輔（慶應大学）“Bootstrap Bias Correction for Functions of Realized Variance”

17:50-18:25 渡部敏明（一橋大学）“Bayesian Analysis of Multiple Structural Changes in ARFIMA Models with an Application to Realized Volatility”

19:00-21:00 意見交換会